

令和6年9月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,231	181,573	182,100	182,260	△ 527	△ 687
2 調定水量	m <sup>3</sup>	639,424	3,741,155	3,791,000	3,811,274	△ 49,845	△ 70,119
3 調定料金(税抜)	円	193,574,677	1,139,366,280	1,145,000,000	1,025,000,255	△ 5,633,720	114,366,025
4 口振加入件数	件	24,754	148,755	—	149,765	—	△ 1,010

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,293	115,606	115,860	114,419	△ 254	1,187
6 調定水量	m <sup>3</sup>	401,085	2,331,841	2,312,220	2,330,751	19,621	1,090
7 調定料金(税抜)	円	74,191,583	432,717,682	432,720,000	370,137,498	△ 2,318	62,580,184

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,990	△ 1,458
9 給水件数	件	30,072	—	30,140	△ 68
10 開栓処理件数	件	193	1,507	1,503	4
11 閉栓処理件数	件	242	1,435	1,486	△ 51
12 給水工事設計審査	件	24	209	292	△ 83
13 給水工事竣工検査	件	46	266	324	△ 58
14 経年メーター交換	件	517	2,525	1,446	1,079
15 メーター口径変更	件	4	10	15	△ 5
16 督促状発送数	件	1,347	8,452	8,080	372
17 月末停止件数	件	113	—	105	8

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	23	136	173	△ 37
19 排水設備工事完了検査	件	17	132	174	△ 42

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	227,774,263円	81.83%	209,799,493円	81.39%	0.44%
21 過年度分	3,357,123円	98.36%	3,825,557円	97.92%	0.44%
22 計	231,131,386円	-	213,625,050円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	96,194,650円	79.80%	86,443,093円	78.78%	1.02%
24 過年度分	851,875円	99.08%	825,008円	98.92%	0.16%
25 計	97,046,525円	-	87,268,101円	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	4,810,300円	83.75%	5,262,900円	81.31%	2.44%
27 過年度分	1,259,900円	10.90%	1,293,900円	25.71%	△ 14.81%
28 計	6,070,200円	-	6,556,800円	-	-



登米市水道事業キャラクター「ジョーくん」と「スイちゃん」、  
登米市下水道事業キャラクター「水守(みもる)さん」

1. 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は212,932千円(税込)で、前月期に比べて1,338千円の増、対前年同月比では13,597千円の増となっています。営業収益は213,220千円、営業外収益は事務手数料や預金利息など5,208千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など94,271千円、営業外費用は企業債利息として46,461千円、特別損失は50千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金176千円の執行となりました。支出は、建設改良費として機器整備費や事務費など330,696千円、企業債償還金として243,411千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は81,543千円(税込)で、前月期に比べて985千円の増、対前年同月比では9,646千円の増となっています。営業収益は81,581千円、営業外収益は、預金利息など22千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など82,112千円、営業外費用は企業債利息として105,310千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債や受益者負担金など25,331千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など7,252千円、企業債償還金として705,950千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道事業ビジョン策定支援業務プロポーザル審査委員会の開催

9月9日(月)に登米市上下水道事業ビジョン策定支援業務公募型プロポーザル審査委員会が開催されました。この審査委員会は、上下水道事業ビジョン策定支援業務公募型プロポーザルに関する公募者に提案を透明性、公平性及び公正性を確保して審査するため設置されました。

審査会では、プロポーザル参加者から提出された企画提案書に基づきプレゼンテーションが行われ、審査委員は、提案内容が分かりやすかつ的確であるか、本市への提案として妥当性、実現性があるかなどの観点で評価を行いました。

審査の結果、株式会社日水コン東北支所が契約候補者となり、詳細協議を得て契約しました。

(2) 登米市議会定例会9月定期議会が開催

9月10日(火)に令和6年度登米市議会定例会9月定期議会が開催し、上下水道部では、「令和6年度登米市水道事業会計補正予算(第2号)」、「令和6年度登米市下水道事業会計補正予算(第1号)」、「令和5年度登米市水道事業会計決算認定について」及び「令和5年度登米市下水道事業会計決算認定について」の4件を提案しました。

9月24日(火)には、総務企画常任委員会・予算決算常任委員会総務企画分科会で、水道事業会計補正予算(第2号)及び下水道事業会計補正予算(第1号)について、9月30日(月)には、令和5年度水道事業会計決算認定及び下水道事業会計決算認定について、それぞれ審議が行われました。

補正予算の審議では、保呂羽浄水場再構築事業に係る物価上昇率と今後の見通しについての質問があり、当初の請負代金から3.3%の上昇と、今後は情勢や物価の状況を見ながら各々要望があれば協議をしていくと回答しました。

また、決算認定の審議では、下水道の接続率が低い処理区の接続率向上策について質問があり、公共や特環エリアで供用開始から5年以内の補助金対象者かつ、受益者負担金担金を支払っている世帯を抽出し、該当者へ通知した旨を回答しました。

補正予算は9月27日(金)に原案のとおり可決され、決算については、10月8日(火)に決算認定の審議が行われます。

令和6年9月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	813,219	4,988,189	4,844,220	4,970,414	143,969	17,775
総配水量	753,252	4,633,475	4,518,860	4,632,449	114,615	1,026
1 有効水量	684,088	3,977,326	4,021,130	4,029,824	△ 43,804	△ 52,498
(1) 有収水量	643,882	3,767,826	3,817,400	3,837,943	△ 49,574	△ 70,117
(2) 無収水量	40,206	209,500	203,730	191,881	5,770	17,619
2 無効水量	69,164	656,149	497,730	602,625	158,419	53,524
(1) 漏水	69,069	655,091	493,980	599,911	161,111	55,180
(2) その他無効水量	95	1,058	3,750	2,714	△ 2,692	△ 1,656
3 有収率	85.48%	81.32%	84.48%	82.85%	△ 3.16%	△ 1.53%

※ 当月期の最大配水量は、9月12日（木）に記録した【26,163m<sup>3</sup>】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	723,237	6	652,550	1	10,377	60,310	91.7%
配給水施設整備事業	43	1,210,334	8	459,135	2	32,934	718,265	40.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 南方町新砥落地内で漏水発生

9月9日（月）、南方町新砥落地内において、水道管（塩化ビニール管：口径100mm）の漏水が発生しました。漏水箇所は継手部に亀裂が入り漏水したものでした。修理は断水せずに漏水箇所を覆う部材を取り付けて完了しました。



【復旧工事の状況】

2 上半期の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、配水施設等維持管理業務受託者により漏水調査を実施しています。9月末の漏水調査結果は、累計で104件、136.080m<sup>3</sup>/hの漏水を発見し、有収率は81.32%となっています。有収率は前年度と比較して1.53ポイント低くなっています。無効水量（特に未確認漏水量）を抑制できなかったことが主な要因と考えています。漏水調査発見件数104件のうち、34件は塩化ビニール管からの漏水でした。

今後も、夜間の最小流量を注視しながら、流量の多い地区を細分化して、流量測定を実施し漏水区域の絞り込みを行って、漏水箇所を特定し、早期に修理を行っていきます。

また、人工衛星を活用した漏水調査を進めており、その調査結果を基に、効率的な調査方法を検討し、漏水の早期発見に努めてまいります。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	23	71.400
付属施設	0	0.000	
給水装置	81	64.680	
計	104	136.080	

【漏水調査結果：4月～9月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）  
約950,644円/日当たり  
算定：R5年度給水原価 291.08円  
累計漏水量 136.080m<sup>3</sup>/h  
136.080m<sup>3</sup>/h × 24h × 291.08円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	56,098	323,744	312,558	11,186	3処理場
米谷・錦織処理区	13,679	70,763	65,371	5,392	
豊里処理区	31,109	183,634	180,588	3,046	
津山処理区	11,310	69,347	66,599	2,748	
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,244	71,703	74,225	△ 2,522	
農業集落排水	123,991	699,136	687,660	11,476	24処理場
迫地区	8,886	51,653	51,614	39	
東和地区	2,728	16,675	16,935	△ 260	
中田地区	35,240	198,776	191,461	7,315	
豊里地区	2,033	12,161	11,791	370	
米山地区	55,066	302,974	295,863	7,111	
南方地区	20,038	116,897	119,996	△ 3,099	R6.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	47,039	268,697	264,087	4,610	2,163基
合計	493,215	2,895,462	2,961,045	△ 65,584	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	723,015	5	509,531	0	5,480	208,004	71.2%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	89	570,908	19	129,524	10	28,495	412,889	27.7%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水汚泥の放射性物質測定の実施

公共下水道処理施設4か所及び農業集落排水処理施設24か所から試料採取した汚泥について、放射性物質の測定を行いました。

この測定は、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づき、各処理施設から搬出される汚泥中の放射性物質濃度を測定するもので、今年度についても2回実施する予定です。今回1回目の測定を実施したところ、汚泥中からの放射性物質の検出はありませんでした。

2 迫町大東地区雨水排水路築造工事の完了（R5繰越分）

令和6年9月30日に迫町大東地区雨水排水路築造工事が完了しました。この工事は、迫町大東公園周辺の内水処理の対策として令和元年度より事業に着手しており、令和5年度繰越工事においては、函渠工(L=59.7m)の整備を行いました。

函渠布設後の交通開放は仮復旧の状態であることから、次年度以降において道路舗装の本復旧を実施する予定です。

○浄化槽整備事業受付状況  
(9月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	34	46